

新 津市の新展開

1 合併10年

				※100万円未満は四捨五入
○臨時財政対策債及び合併特例事業債を除く市債残高	(H18.1.1) 983.3億円	⇒	(H26年度決算) 298.5億円	⇒ (H27年度決算) 244.4億円
○扶助費(普通会計)	(H18年度決算) 122.4億円	⇒	(H26年度決算) 219.8億円	⇒ (H27年度決算) 223.1億円
○普通建設事業費(普通会計)	(H18年度決算) 89.0億円	⇒	(H26年度決算) 182.2億円	⇒ (H27年度決算) 196.6億円
○合併特例事業債発行額	(H18年度累計) 0円	⇒	(H26年度累計) 230.3億円	⇒ (H27年度累計) 334.2億円
○公債費(普通会計)	(H18年度決算) 131.1億円	⇒	(H26年度決算) 107.2億円	⇒ (H27年度決算) 95.9億円
○職員数	(H17) 3,119人	⇒	(H26) 2,499人	⇒ (H27) 2,522人
○人件費(普通会計)	(H18年度決算) 219.9億円	⇒	(H26年度決算) 195.8億円	⇒ (H27年度決算) 198.4億円
○財政調整基金残高	(H18.1.1) 104.3億円	⇒	(H26年度決算) 200.6億円	⇒ (H27年度決算) 189.7億円
○公共施設の老朽化			(H20~24) 投資的経費平均額 約48億円/年	⇒ 今後の更新整備費用 約113億円/年
			※建設から築30年で大規模改修、築60年で建替えすると仮定した場合	
			(H26~34) 大規模改修ピーク	⇒ (H42~53) 建替えピーク

2 選択と集中

①未完成プロジェクト

⇒産業・スポーツセンター整備(サオリーナ)

久居駅周辺地区都市再生整備事業〔(仮称)津市久居ホール、駅東口(新町野口線道路改良)・駅西口(水路整備)など〕

(仮称)津市応急クリニック整備

②事業の継続・更に推進

⇒学校施設整備(大規模改造、プレハブ校舎解消、トイレ洋式化)

庁舎(教育委員会、津北工事事務所、本庁舎)

消防署整備(南分署・北消防署・西分署)

獣害対策の強化

地域連携(地域懇談会)

③新たに事業着手

⇒生活不便解消のためのインフラ整備(大谷踏切拡幅)・老朽化対策(津興橋架け替え)

普通教室へのエアコン設置

子ども医療費の無料化(中学生通院費を助成拡大)

育休退園の廃止、こども園整備(津地区・芸濃地区・香良洲地区・一志地区・白山地区)

④事業化に向けた調査検討

⇒企業間のビジネスマッチング・創業サポート体制整備

公民館・コミュニティ施設老朽化対策、

高齢者外出支援

防災情報戸別受信装置配布

⑤次代の指針

⇒行政経営計画、公共施設等総合管理計画

次期総合計画・都市マスタープラン

3 風格ある県都にふさわしい津市役所

①職員行動規範

②志高く堂々たる津市役所に